

船舶事故等調査報告書

平成22年9月30日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010広第86号	
事故等名	かき養殖施設損傷	
発生日時	平成22年5月19日 13時40分ごろ	
発生場所	広島県広島市峠島南東方沖 宇品灯台から真方位174° 1.9海里付近 (概位 北緯34° 18.5′ 東経132° 28.0′)	
事故等調査の経過	平成22年6月4日、本事故の調査を担当する主管調査官(広島事務所)を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 ^{たいしょう} 大照丸、332トン	
船舶番号、船舶所有者等	132531、有限会社益井組	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士(航海)	
死傷者等	なし	
損傷	本船：なし かき養殖施設：破損して沈没	
事故等の経過	本船は、船長ほか2人が乗り組み、峠島南東方沖を北東進中、平成22年5月19日13時40分ごろ、かき養殖施設に接触した。	
気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北、風力 1、視程 約200m 海象：潮汐 高潮期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、峠島南東方沖を北東進中、霧により視界が制限された状況下、峠島に接近し過ぎたものと考えられる。 船長は、峠島の周囲にかき養殖施設があることを知っていたものと考えられる。
原因	本事故は、霧により視界が制限された状況下、本船が、峠島南東方沖を北東進中、峠島に接近し過ぎたため、かき養殖施設に向首して航行し、同施設に接触したことにより発生したものと考えられる。	